



一般社団法人 日本顕微鏡歯科学会

# 第20回学術大会・総会 歯科衛生士シンポジウム

大会長：寺内吉継

実行委員長：表茂稔

## 見えるからこそできる歯周治療

佐藤由美

医療法人社団 光雙会 市川歯科医院

私は、日本歯周病学会の歯周治療の指針に則り、歯周病専門医の下で約22年間、日々歯周病を学びながら臨床に携わってきました。約8年前に転職し、歯周治療に“顕微鏡”が加わりました。見えることで、各インスツルメントがセメント質に及ぼす影響の確認が出来るなどといった、肉眼では確認出来なかった文献などの記載に関して理解が深まりました。それにより、インスツルメントの使い方は基本的に忠実にアプローチをすることがどれだけ大切なことかを実感できました。更に、患者のブランクコントロールの状況やブランクリテンションファクターなどを確実視出来、更に器具の操作時では、歯石の性状を確実視することで、アプローチの工夫も可能になります。顕微鏡による“見えるからこそできる歯周治療”は、患者の積極的な治療の参加、歯石除去のタイミング、正しいインスツルメントの使い方での適切な歯石除去のアプローチや器具の選択など病状安定というゴールに向けてより戦略的に低侵襲に行えます。今回このシンポジウムでは、顕微鏡を最大限に活用し、歯周治療の指針に則った治療の行い方やヒントをお伝えしたいと思います。